令和８年１１月 市長定例記者会見 資料２

中島小学校跡地の今後の利活用方針について





～市民の大切な資産である中島小学校跡地を
利活用し、新たな地域の拠点の創出を目指します～

事業コンセプト

中島小学校は平成２９年３月に廃校となって以降、庁内各課や地元の各種団体などによる暫定的な利用を続けてきましたが、旧校舎の耐用年数も迫っているため、今後土地全体としての利活用方針を決定する必要がありました。

そこで、既存体育館や広場などの公共空間と民間活力による多様な施設を組み合わせ、子どもから高齢者まで誰もが集い、公共部分と民間活用部分全体が地域の拠点となるように、また、住民を中心とする交流を可能とし日々の暮らしを支え、世代を超えたつながりを育みながら、地域に開かれたまちづくりを目指すという思いを込めて、以下の事業コンセプトを決定しました。

暮らしに寄り添い、世代をつなぐ。地域に開かれた拠点

これまでの取組

令和７年度からこれまでに地元と協議を重ね、要望事項を集約する中で、民間事業者に対してもヒアリングを実施し、事業実現の可能性を調査しました。

その結果、**土地を民間活用部分、公共部分にゾーニングして利活用を図る**こととしております。

【民間事業者から出た主な意見】
・分譲（賃貸）マンション　・サービス付き高齢者住宅
・コンビニ　・ドラッグストア　・カフェ　・コインランドリー　など

跡地活用方針

①敷地内を南北に結ぶ道路（車道）を整備する

②体育館は残存し、体育館に隣接する広場を整備する

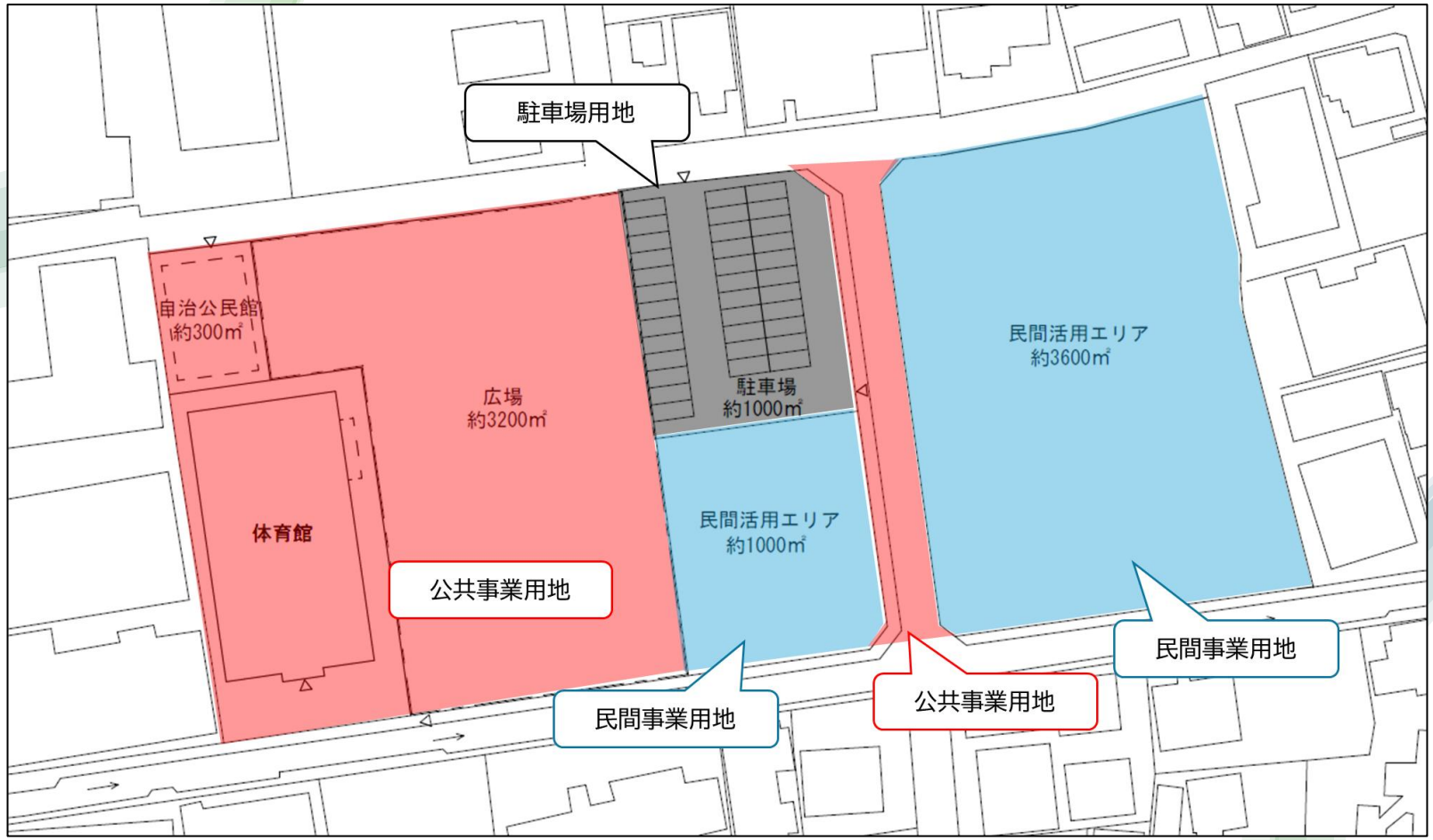
③整備する道路の西側の公共部分に自治公民館用のスペースを設ける

④既存校舎を解体する

⑤周辺の土地利用状況から、民間活用部分は住居系又は住居系に親和性の良い施設による利活用を行うこととする

⑥周辺の住環境に配慮し、民間活用部分では営業時間や騒音、光害等に配慮した計画とする

レイアウトイメージ（案）

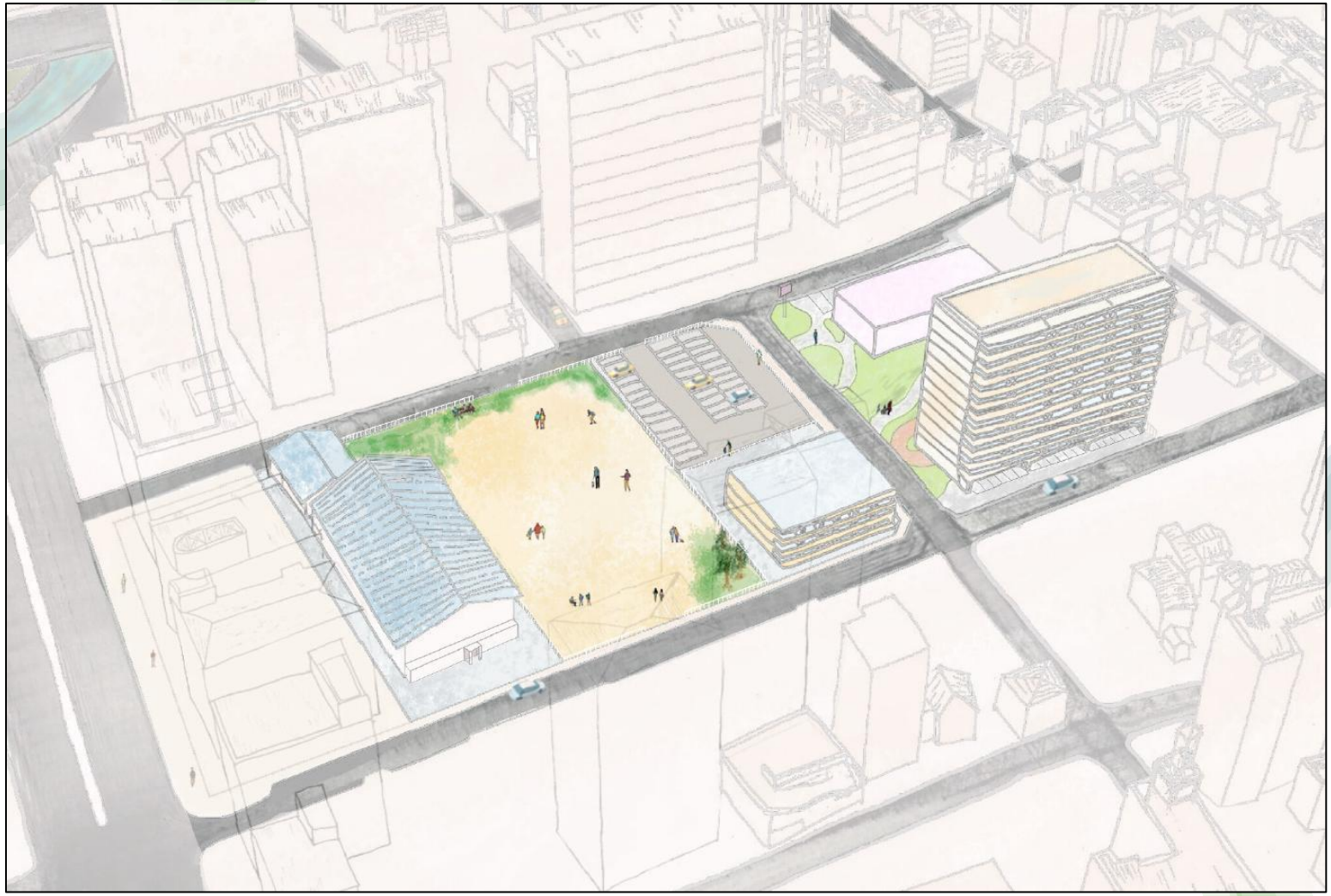


※今後、事業者の提案や地元等関係者との協議により変更する場合があります。

今後のスケジュール
→令和８年度中に事業者公募開始予定

利活用イメージパース

【日本文理大学の学生によるイメージパース】



※想定のイメージパースです。
※今後、事業者の提案や地元等関係者との協議により変更する場合があります。